

(別紙4(2))

目標達成計画

事業所名 さくらの里グループホーム

作成日: 平成25年 7月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	26	開設当時のダイニングテーブルを使用しており、必要時に、その時々不足分を用意していただくものを、使用中のため、テーブルや椅子を含めて、高さやサイズが利用者に合っていない場合がある	日々の生活の中で、不都合な点がないか、常に目配りしながら、訴えること出来るよう、利用者の気持ちを組み取れるよう、観察力を、安全に生活が送れるようにする	利用者一人ひとりのニーズに合うように、テーブルや椅子の高さなど、全体サイズを検討、車椅子の調節や車椅子本体の交換も行いながら、安全に生活が送れるよう努力している	3ヶ月
2	33	終末期において、家族の方針と見守っているスタッフの気持ちの共有が、数人は少ない、難しいところあり、スタッフは気持ちの折り合いをつけて持っていかなければならない	家族と出来る範囲での連携を取り、家族の気持ちをスタッフ全員が組み取れるように、同じ方針を共有出来る	家族の面会時等を利用し、具体的な話し合い出来るよう言葉かけをしていく、おたよりや電話等でも、状態を理解していただき、家族の気持ちをスタッフ間で共有していく	6ヶ月
3	35	火災時の避難方法としての、避難経路と同一場所か、別の作りになっており、周知ではないため、利用者の避難が、今早く行えない場合がある	廊下のつき当りは、普段は開かない作りである、火災時には開戸となり、利用者から外へ避難出来る経路となる	この問題点について、改善出来るようになるよう、理事長の意見を伺いながら、常に話題を維持していくようにしている	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。